

# 17<sup>th</sup> Interim Business Report

## 第17期第2四半期 株主通信

2023年1月1日～2023年6月30日

CREATIVE & GLOBAL & SOLUTION

世界を築く、創造のソリューション。

株式会社C&Gシステムズ

証券コード：6633

### 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、いつも変わらぬご支援を賜り誠にありがとうございます。2023年12月期第2四半期の営業概況について、ご報告申し上げます。

#### — 2023年12月期第2四半期の連結業績は？

金型製造事業の減収割合が響き  
減収減益で推移

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、売上高は20億67百万円（前年同四半期比3.6%減）、営業利益は1億77百万円（前年同四半期比29.8%減）の減収減益となりました。CAD/CAMシステム等事業の売上高は前年同四半期との比較で増加した一方、金型製造事業の売上減少割合が大きかったこと、また利益面では、営業活動がコロナ前の水準に戻ったことによる営業活動費の増加が影響しました。

#### (1) CAD/CAMシステム等事業

CAD/CAMシステム等事業の売上高は17億91百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益は1億54百万円（前年同四半期比22.6%減）となりました。

国内においては製品販売では、IoT分野等への市場拡大として販売強化に取り組んでいる金型・部品製造向け工程管理システム「AIQ」の需要が増加したほか、国内海外ともに半導体・精密電子部品の需要増を背景に2次元・3次元融合型CAD/CAMシステム「EXCESS-HYBRID II」の販売が堅調に推移しました。一方海外の製品販売は、東アジアでは韓国において電気自動車（EV）関連の需要が好調に推移し売上が大きく伸長したほか、ASEAN地域ではタイおよび2023年2月に新たに駐在員事務所を開設したベトナムにおいて営業機会の増加に伴い製品販売が堅調に推移しました。

ただし利益面では、前述のとおり営業活動費の増加が影響し、セグメント利益は前年同四半期比で減少しました。

#### (2) 金型製造事業

金型製造事業の売上高は2億75百万円（前年同四半期比

36.9%減）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比56.7%減）の減収減益となりました。金型製造子会社においては、EVシフトとの兼ね合いにより新機種開発が乏しいことに加え、従来機種のモデルチェンジサイクルの谷間で2022年下期の受注状況が低調に推移したことが影響しました。

#### — 2023年下期の動向は？

通期連結業績予想は据え置き  
成長戦略の推進により収益向上を図る

2023年下期においては、EVシフトの動向および原材料高騰等の間接的な影響等が懸念され、依然として不透明な状況が継続するものと予測していますが、CAD/CAMシステム等事業においては主力製品販売の維持・拡張に加え、6月に展示会に出展し好評を博した工程管理システムの販売強化、部品加工市場および積層造形分野での拡販といった成長戦略を推進することで収益向上を図ってまいります。

また金型製造事業については、2023年下期も、上期同様の事業環境が予想され、現時点での受注状況からの予測では、下期業績は低調な推移が見込まれ、回復は来期以降となる見通しです。

これらの状況から、現時点では、通期連結業績予想については据え置きとさせていただきます。見通しに変化が生じ、業績予想の修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

今後も世界のモノづくり分野において、「グローバル・ニッチ・トップ」を目指し、顧客満足度向上、ひいては企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社へのご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

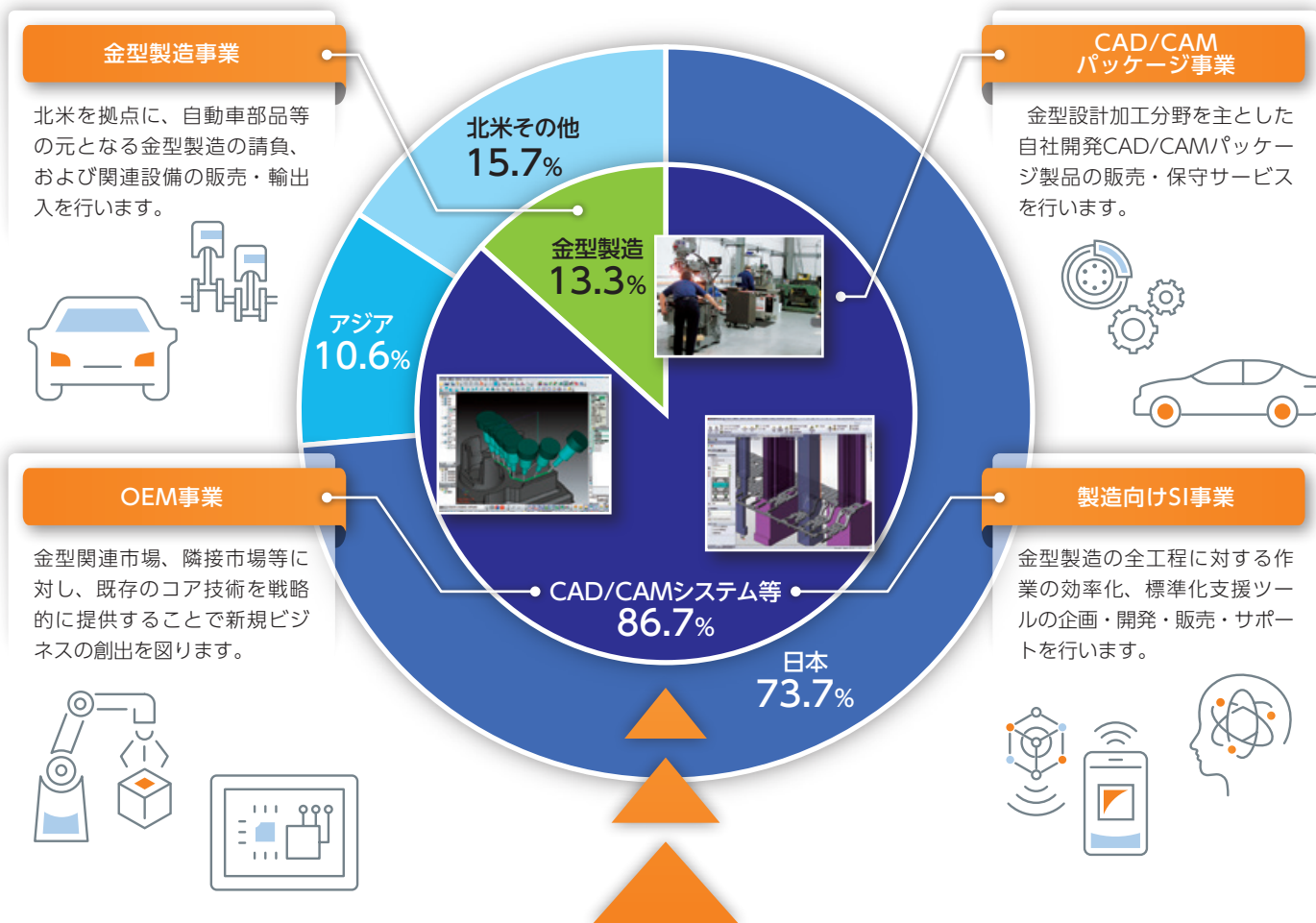
2023年8月吉日

代表取締役社長 塩田 聖一

# Overview by Business Segment

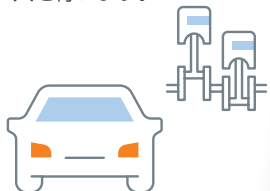
## 仕向地別セグメントの概況

2023年12月期第2四半期 連結売上高比率



### 金型製造事業

北米を拠点に、自動車部品等の元となる金型製造の請負、および関連設備の販売・輸出入を行います。



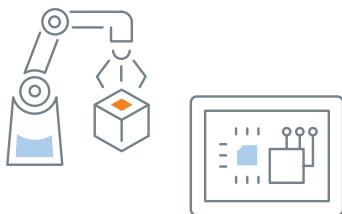
### CAD/CAMパッケージ事業

金型設計加工分野を主とした自社開発CAD/CAM/パッケージ製品の販売・保守サービスを行います。



### OEM事業

金型関連市場、隣接市場等に対し、既存のコア技術を戦略的に提供することで新規ビジネスの創出を図ります。



### 製造向けSI事業

金型製造の全工程に対する作業の効率化、標準化支援ツールの企画・開発・販売・サポートを行います。



## CAD/CAMシステム等事業 主力製品

### CAM-TOOL

5軸マシニングセンター対応  
ハイエンドCAD/CAMシステム



### EXCESS-HYBRID II

2次元・3次元融合CAD/CAMシステム



### AIQ

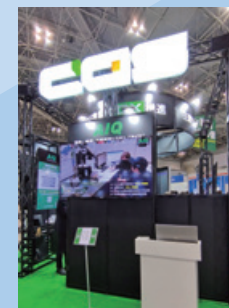
金型・部品製造業に特化した  
当社独自のIoTソリューション



# Topics

事業トピックス

## 「日本ものづくりワールド」展示会に出展



当社では2023年6月に開催された10の専門展で構成される日本最大級の製造業の展示会「日本ものづくりワールド」のうち、「設計・製造ソリューション展 (DMS)」および「次世代3Dプリンタ展 (AM Japan)」に出展しました。

DMSでは、製造業のDX化を推進する金型・部品製造向け生産・工程管理システム「AIQ」を展示、じっくりお話を伺えるようすべて

着席の商談スペースとし、製品の説明・提案を行ったほか、プレゼンテーションタイムでは導入効果や最新版の機能をご紹介しました。

またAM Japanでは、昨年に続きローランド ディー・ジー (RDG) 社様との共同出展で、当社からは「Craft MILL」およびRDG社様の新型切削機に対応した「Craft MILL R for 50」を展示し、来場者にご注目いただきました。



## AIQ最新バージョンリリースを発表

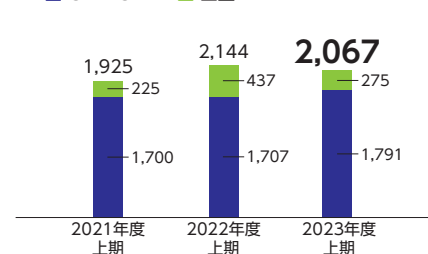
当社では、2023年7月に金型・部品製造向け生産・工程管理システム「AIQ」の最新バージョンV16.1をリリースする旨を発表しました。中小量産メーカーの生産計画を支援する「量産カルテ」および「量産用設備ガントチャート」機能を新設、既存機能である「製品在庫カレンダー機能 (取引先からの内示/受注情報を日割りで所要量計算するカレンダー)」との相互連携により、過剰在庫や材料不足、機会ロスなどを回避し、量産需要に対してより正確で安全な生産計画の立案が可能となりました。

また年内にはAIによる類似画像検索機能をリリースする予定となっており、管理システム全体の使い勝手と運用効率が格段に向上する見込みです。

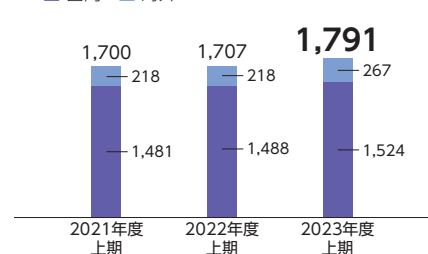


## 2023年度上期連結決算ハイライト

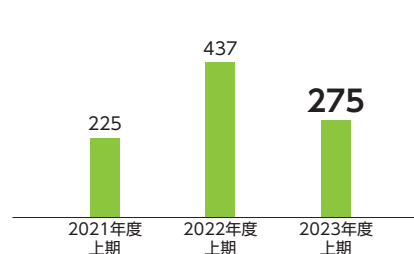
売上高 (単位: 百万円)



CAD/CAMシステム等事業 売上高 (単位: 百万円)



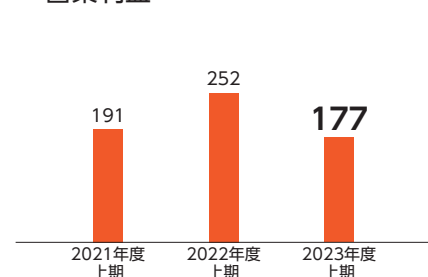
金型製造事業 売上高 (単位: 百万円)



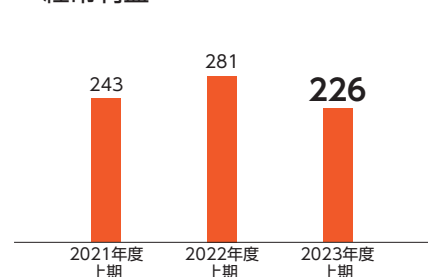
### 売上面

CAD/CAMシステム等事業の売上高は、前年同四半期比4.9%の増収となりました。国内では金型・部品製造向け生産・工程管理システム「AIQ」の需要が増加したほか、国内海外ともに半導体・精密電子部品の需要増を背景に2次元・3次元融合型CAD/CAMシステム「EXCESS-HYBRID II」の販売が堅調に推移しました。また海外では、韓国において電気自動車関連の需要が好調に推移したほか、タイおよび2023年2月に新たに駐在員事務所を開設したベトナムでの営業機会増加に伴い製品販売が堅調に推移しました。金型製造事業の売上高は、新機種開発が乏しいことに加え、従来機種のモデルチェンジサイクルの谷間で2022年下期の受注状況が低調に推移したことが影響し、低調ではありましたが、想定内の推移となりました。

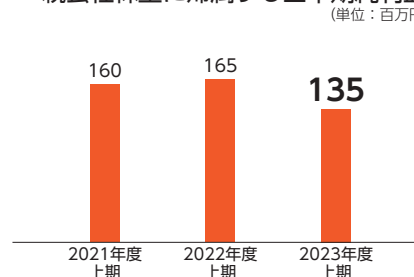
営業利益 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益 (単位: 百万円)



### 利益面

CAD/CAMシステム等事業において営業活動がコロナ前の水準に戻ったことにより営業活動費が増加したこと、金型製造事業の減収の影響により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のすべてが減益となりました。なお経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益については、第1四半期連結会計期間において営業外収益として保険解約返戻金25百万円を計上した影響から、営業利益と比較し利益減少割合が低くなっています。

## 通期の見通し (連結)

(単位: 百万円)

	2022年度 通期	2023年度 通期予想	増減額	増減率
売上高	4,421	4,131	△289	△6.6%
営業利益	455	311	△143	△31.6%
経常利益	512	349	△162	△31.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	293	208	△85	△28.9%

通期連結業績予想については2023年2月10日に公表した予想を据え置いています。

足元ではEVシフトによる設備投資動向の変化および原材料高騰等、不安定要素が払拭されない状況が継続していますが、下半期においても基幹収益源であるCAD/CAMシステム販売・サービスに注力することで、さらなる業績向上を目指します。

## 会社概要 (2023年6月30日現在)

社名	株式会社C&Gシステムズ (C&G SYSTEMS INC.)
設立	2007年7月2日
資本金	5億円
従業員数	248名 (連結)
本社所在地	(東京) 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー19F (北九州) 〒806-0067 福岡県北九州市八幡西区引野一丁目5番15号
電話番号	03-6864-0777 (代表)
事業内容	金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート  (国内) 東京支店、大宮支店、名古屋支店、大阪支店、九州支店 (テクニカルセンター) インドネシアテクニカルセンター ベトナムテクニカルセンター (海外子会社) CGS ASIA CO., LTD. (タイ) CGS NORTH AMERICA INC. (CANADA) (カナダ) Tritech International, LLC (アメリカ) (海外代理店) IGPNET社 (韓国) Shanghai C.J System Technology社 (中国) Createwell社 (台湾)
主な拠点	(同上)

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めたり
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告 (https://www.cgsys.co.jp/)ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場